

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00456)

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------------------------|--------|----|-----|----|---------|------|----|---------|------|----|-----|------|-----|--|
| 事務事業名称 | 杉並区教育委員会の運営 | | | | 款 | 07 | 項 | 01 | 目 | 01 | 事業 | 001 | 整理番号 | 447 | |
| 現担当課名 | 庶務課 | | 係名 | 庶務係 | | 連絡先電話番号 | 1603 | | 昨年度整理番号 | 448 | | | | | |
| 上位施策No・施策名 | 23 多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進 | | | | | | | | 予算事業区分 | 既定事業 | | | | | |
| 事業開始 | 昭和27年度 | 実行計画事業 | 目標 | 07 | 施策 | 23 | 計画事業 | 02 | | | | | | | |
| 令和 4年度担当課名 | 庶務課 | | | | | | | | 事業評価区分 | 一般 | | | | | |

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

| | | | |
|-----------------------------|---|--|---|
| 対象 | 区内在住・在勤・在学者、学校関係者、学校、教育施設 | 根拠法令等 (1) (2) | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 いじめ防止対策推進法 |
| 事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) | 教育委員会の審議等を経て、杉並らしい特色ある教育施策を実施し、教育内容の更なる充実を図る。教育委員会の取組や学校の教育活動等に関する情報を、児童・生徒、保護者、その他多くの区民に周知する。区立学校におけるいじめの解決や未然防止に向けた学校の対応力の向上を図る。 | 活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) | 教育委員会会議開催回数 教育委員会の会議の開催回数 (定例会及び臨時会) ただし、全面非公開の会議を除く 議案等付議事案件数 |
| 事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) | 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会の運営を行う。広報すぎなみや教育委員会ホームページ等を活用し、教育施策等に関する情報を積極的に発信する。文化活動で特に優秀な成績を修めた児童・生徒や他の模範となる教職員の表彰を行う。「いじめ防止対策推進法」に基づき設置した、いじめ問題対策委員会を開催し、いじめの防止等のための調査審議を行う。 | 指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明 | 教育委員会傍聴者数 教育委員会の会議の傍聴者数 (定例会及び臨時会) 【行政】 教育委員会ホームページアクセス数 教育委員会ホームページへの訪問者数 (セッション数) 【社会】 |

指標、総事業費 (Plan・Do)

| 区分 | 単位 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | | 令和 4年度 | | 令和 5年度 | 令和 4年度 | 令和 4年度 | | | |
|-----------------|-----------------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|----------|--|--|--|--|
| | | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 (目標値) | 実績 | 計画 | 対計画比 (%) | 予算執行率 (%) | | | |
| 活動指標 (1) | 1 回 | 22 | 24 | 20 | 24 | 21 | 24 | 87.5 | 85.3 | | | |
| 活動指標 (2) | 2 件 | 155 | 0 | 159 | 0 | 148 | 0 | 0.0 | | | | |
| 成果指標 (1) | 3 人 | 32 | 100 | 28 | 100 | 22 | 100 | 22.0 | | | | |
| 成果指標 (2) | 4 人 | 147,960 | 150,000 | 129,302 | 150,000 | 120,603 | 150,000 | 80.4 | | | | |
| 事業費 | 5 千円 | 14,841 | 15,323 | 13,575 | 17,433 | 14,862 | 15,066 | 特記事項 | | | | |
| 人件費 | 常勤職員分 (再任用含) | 6 千円 | 50,678 | 42,515 | 48,306 | 41,715 | 56,479 | 49,908 | 【執行残の理由 (執行率90%未満の事業)】 広報冊子「杉並区教育」や「杉並区教育ビジョン推進計画」の契約額が予算を下回ったことによる需用費の残等のため。 | | | |
| | 上記以外の職員 | 7 千円 | 1,814 | 1,814 | 1,838 | 1,838 | 1,839 | 1,839 | | | | |
| 総事業費 (5+6+7) | 8 千円 | 67,333 | 59,652 | 63,719 | 60,986 | 73,180 | 66,813 | | | | | |
| 財源 | 受益者負担分 | 9 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | 国・都からの補助金 | 10 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | その他の補助金等 | 11 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | 特定財源計 (9+10+11) | 12 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| 差引: 一般財源 (8-12) | 13 千円 | 67,333 | 59,652 | 63,719 | 60,986 | 73,180 | 66,813 | | | | | |

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 447

| | 内 容 | 規模 | 単位 | 事業費 (千円) |
|------|--|----|----|----------|
| 主な取組 | 教育委員会運営 (委員報酬、委員旅費の支出ほか) | 4 | 人 | 12,299 |
| | 教育行政の調査研究 (点検評価謝礼、いじめ問題対策委員報酬ほか) | | | 736 |
| | 「杉並区の教育」の印刷・発行ほか | | | 589 |
| | 教育ビジョンの推進 (教育ビジョン推進計画の印刷・発行ほか) | | | 981 |
| | その他 (学校文化栄誉顕彰、教職員表彰など) | | | 257 |
| 取組成果 | <p>教育委員会を26回開催し、教育施策等についての審議を行いました。さらに、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」は、「杉並区教育ビジョン2012推進計画」の事業の振り返りを中心に実施しました。その他、いじめ問題対策委員会を2回開催し、いじめ防止対策や複数の個別事案、学校のいじめに対する具体的な取組について、調査審議を行いました。また、「杉並区教育ビジョン2022推進計画」を策定するとともに、杉並区教育ビジョン2022の理解促進に向けた小中学校等における意見交換会の実施や児童向けのデジタル冊子の作成など周知に努めました。</p> | | | |

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

| | |
|------------------------------|---|
| 課題・分析 (1 / 2) | <p>令和4年度から概ね10年程度を期間とする「杉並区教育ビジョン2022」を踏まえた「杉並区教育ビジョン2022推進計画 (以下「推進計画」という。)」に基づいた教育環境の整備や具体的な施策の取組を着実に進める必要があります。また、推進計画は総合計画等の改定に合わせ、令和5年度に改定を行います。教育広報の推進については、令和3年度より紙面による「すぎなみの教育報」に代えて「杉並区教育委員会ホームページ」を活用して最新情報を公表しているため、引き続き内容の充実を図ります。いじめ問題対策委員会では、いじめに対する学校の対応力向上に向け、各学校の個別事例の検証をしながら、委員の専門的な知見を踏まえて今後の対応について検討を行っていきます。</p> |
| 課題・分析 (2 / 2) | |
| 現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む) | <p>教育委員会を11回開催し、教育施策等についての審議を行いました。「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」(以下「点検・評価」という。))においては、令和4年度分の結果に関する報告書を11月に公表します。教育広報の推進については、「広報すぎなみ」において上半期に特集記事を2回掲載し、さらに下半期に1回の掲載を予定しているほか、「杉並区教育委員会ホームページ」においては随時、教育現場における様々な取組の紹介を行っています。いじめ問題対策委員会では、学校において発生した、いじめの主な事案について審議するなど、いじめの未然防止、早期解決に向けて引き続き取り組んでいきます。なお、特段、予算執行状況に過不足は生じていません。</p> |
| 事業の方向性・改善策 | <p>教育委員会での審議等を経て、杉並らしい特色ある教育施策を実施し、教育内容の更なる充実を図ります。また、今年度に取り組む総合計画等の改定及び点検・評価の結果を踏まえ、推進計画に基づいた教育環境の整備や具体的な施策の取組を着実に進めていくとともに、推進計画の必要な見直しも行います。教育広報の推進については、「広報すぎなみ」での特集記事やコラムなどの掲載を計画的に進め、引き続き「杉並区教育委員会ホームページ」の内容の充実を図り積極的な情報発信に努めます。</p> |

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

| | | |
|-----------------|--|------|
| 予算の方向性 (見直しの視点) | I 事業コストの方向性 | 現状維持 |
| | II 事業の改善の方向性 | 現状維持 |
| 予算の方向性の理由・内容 | <p>「杉並区教育ビジョン2022」に掲げる「みんなのしあわせを創る杉並の教育」の実現に向け、今後の総合計画等の改定を踏まえて推進計画に基づく各種取組を着実に進めていくとともに、点検・評価や各事業の適切な進行管理により、教育行政を効果的に推進していきます。また、教育に係る広報を推進するために職員で構成される「教育広報推進会議」において、効果的な情報発信の方策を検討し、教育広報の強化や充実を図ることにより、教育施策への理解と関心を一層高めていきます。</p> | |

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00465)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------------------------|--------|----|----|-----|----|------|---------|-------------------|------|---------|-----|------|-----|
| 事務事業名称 | 特別支援教育 | | | | 款 | 07 | 項 | 01 | 目 | 02 | 事業 | 006 | 整理番号 | 456 |
| 現担当課名 | 特別支援教育課 | | | 係名 | 計画係 | | | 連絡先電話番号 | 5929-9481 | | 昨年度整理番号 | 458 | | |
| 上位施策No・施策名 | 23 多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進 | | | | | | | | 予算事業区分 | 既定事業 | | | | |
| 事業開始 | 昭和23年度 | 実行計画事業 | 目標 | 07 | 施策 | 23 | 計画事業 | 03 | 主要事業（区政経営報告書掲載事業） | | | | | |
| 令和 4年度担当課名 | 特別支援教育課 | | | | | | | | 事業評価区分 | 一般 | | | | |

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

| | | | |
|----------------------------|---|--|---|
| 対象 | 障害等のある児童・生徒、就学前の子ども及び保護者 区立小・中学校及び済美養護学校 | 根拠法令等 (1) (2) | 学校教育法第71条、71条の2、75条 学校教育法施行令第22条の3 |
| 事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） | 障害のある児童・生徒一人ひとりの可能性を最大限に伸ばすため、生活や学習上の困難の改善・克服に向け、個別の教育的ニーズに応じて適切な教育的支援を行う。 | 活動指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） | 学校生活支援シートの作成件数 特別な支援を必要とする子どもに、長期的に一貫して適切な支援を行うことを目的として作成する支援計画の数 教育支援チーム訪問回数 |
| 事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） | 教育支援チーム等の学校巡回により、校内支援体制の充実を図るとともに、個別指導計画の作成・活用を推進する。 学校・学級経営を支援するため、通常学級支援員及び介助員ボランティアを適正に配置する。 障害のある子どもや配慮の必要な子どもの就学先や教育的な支援に関する相談活動を行う。 | 指標説明 成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明 | 通常学級支援員配置人数 【行政】 介助員ボランティアの配置日数 【行政】 |

指標、総事業費 (Plan・Do)

| 区分 | 単位 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | | 令和 4年度 | | 令和 5年度 | 令和 4年度 | 令和 4年度 | |
|-------------------|--------------------|---------|---------|---------|-------------|---------|---------|---------|---|--|
| | | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 (目標値) | 実績 | 計画 | 対計画比(%) | 予算執行率 (%) | |
| 活動指標 (1) | 1 件 | 1,130 | 1,150 | 1,194 | 1,500 | 1,313 | 1,500 | 87.5 | 87.4 | |
| 活動指標 (2) | 2 回 | 661 | 700 | 673 | 450 | 345 | 400 | 76.7 | | |
| 成果指標 (1) | 3 人 | 49 | 55 | 51 | 70 | 61 | 100 | 87.1 | | |
| 成果指標 (2) | 4 日 | 3,267 | 5,000 | 5,169 | 5,000 | 6,161 | 5,100 | 123.2 | | |
| 事業費 | 5 千円 | 142,179 | 137,168 | 128,025 | 165,808 | 144,863 | 207,061 | 特記事項 | | |
| 人件費 | 常勤職員分（再任用含） | 6 千円 | 55,099 | 52,719 | 57,316 | 62,573 | 64,381 | 70,703 | 令和4年度は、医療的ケアに関する派遣看護師の委託契約の入札落差及び派遣看護師数の減により、未執行額が増加しました。また、令和5年度予算については、済美養護の通学バスが2台増車したこと、及び医療的ケアの実施校が増加したことにより、事業費が増加しました。 | |
| | 上記以外の職員 | 7 千円 | 61,676 | 72,560 | 73,500 | 77,175 | 77,238 | 77,238 | | |
| 総事業費 (5+6+7) | 8 千円 | 258,954 | 262,447 | 258,841 | 305,556 | 286,482 | 355,002 | | | |
| 財源 | 受益者負担分 | 9 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 国・都からの補助金 | 10 千円 | 5,393 | 8,135 | 8,334 | 52,155 | 54,228 | 44,365 | | |
| | その他の補助金等 | 11 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 特定財源計 (9+10+11) | 12 千円 | 5,393 | 8,135 | 8,334 | 52,155 | 54,228 | 44,365 | | |
| 差引：一般財源 (8-12) | 13 千円 | 253,561 | 254,312 | 250,507 | 253,401 | 232,254 | 310,637 | | | |

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 456

| | 内 容 | 規模 | 単位 | 事業費 (千円) |
|------|--|-------|----|----------|
| 主な取組 | 医療的ケア児の受入れ | 3 | 校 | 13,184 |
| | 遠足等校外学習介助者の派遣 | 64 | 校 | 13,551 |
| | 介助員ボランティアの派遣 | 6,161 | 日 | 13,554 |
| | 巡回指導員 (言語・作業・理学) の派遣 | 12 | 人 | 9,736 |
| | その他 (専門家チームの派遣、検査実施等) | | | 94,838 |
| 取組成果 | <p>胃ろうや血糖値測定等が必要な児童・生徒が学校生活を送るために必要な医療的ケアについては、済美養護学校以外の区立小学校2校で新たに派遣看護師を配置し、児童の受け入れを開始しました。これにより、医療的ケアを実施している児童は4人となりました。</p> <p>また、介助員ボランティアについては、通常学級支援員の不足を補う形で、多くの学校が介助員ボランティアを利用したことにより、計画していた5,000日を大きく上回る実績となりました。</p> | | | |

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

| | |
|------------------------------|--|
| 課題・分析 (1 / 2) | <p>「杉並区教育ビジョン2022」に掲げた「ちがいを認め合い、自分らしく生きる」という考え方が、保護者の間でも浸透してきています。一般的には特別支援学校が適当と考えられる子どもが通常の学級に入学し、支援員の配置や施設設備の改修を行うという事例が増えてきています。こうした社会の趨勢に対し、個別の教育的ニーズのある子ども一人ひとりに応じた質の高い学びを実現できるよう教育環境整備に今後も取り組んでいきます。</p> |
| 課題・分析 (2 / 2) | <p>小学校を中心に特別支援教室の利用者は増加しており、また、通常の学級においても支援が必要な児童・生徒が増加しています。このため、通常学級支援員について、学校の実情を踏まえ、今後計画的に増員を検討する必要があります。</p> |
| 現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む) | <p>今年度は済美養護学校以外の区立学校2校でも医療的ケアが始まり、介助員ボランティアについても6000日を超える実績を残し、予算執行率も100%となりました。また、医療的ケアについては、特別支援教育課のみならず、関係する障害者施策課や保育課、児童青少年課と連携し、医療的ケア指導医1名を新たに配置し、より安全で安心な学校生活を送れるような教育環境整備に努めました。また、医療的ケアに関連する派遣看護師の委託料の予算の執行率については、当初の受入れ予定数と実際の受入れ数に差異があったこともあり、47% でした。</p> |
| 事業の方向性・改善策 | <p>通常学級支援員については、実行計画の見直しの中で、令和8年度までに現在の92人から増員する計画を立てました。支援を要する児童・生徒が増加する中、各校への着実な配置数の拡充により、子どもの困難さを支え、円滑な学校運営に資する体制を整えていきます。</p> <p>また、介助員ボランティアや付添介助者については、確実な予算執行管理計画を整え、児童・生徒の学校生活や校外学習等における支援を着実に実施できるよう、適正な配置を行っていきます。</p> |

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

| | | |
|-----------------|--|----------------|
| 予算の方向性 (見直しの視点) | I 事業コストの方向性 | 拡充 |
| | II 事業の改善の方向性 | 手段・方法の見直し (改善) |
| 予算の方向性の理由・内容 | <p>通常学級支援員は、実行計画に沿った増員計画を図り、採用等の対応を行っていきます。また、医療的ケア児については、既に来年度3人以上の増加が見込まれていますが、今後も障害者施策課や保育課などと連携し、就学前の教育保育施設における医療的ケア児の把握など情報収集に努め、的確な予算編成を行っていきます。</p> <p>また、今後は、現在課題となっている通常の学級に通う発達障害のある児童・生徒についての支援策について、教育委員会内で連携を図り、検討を進めていきます。</p> | |

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00856)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------------------------|--------|----|-----|----|---------|-----------|----|--------|-------------------|----|-----|------|-----|
| 事務事業名称 | 特別支援学級・学校の環境整備 | | | | 款 | 07 | 項 | 01 | 目 | 02 | 事業 | 013 | 整理番号 | 461 |
| 現担当課名 | 特別支援教育課 | | 係名 | 計画係 | | 連絡先電話番号 | 5929-9481 | | | 昨年度整理番号 | | | | |
| 上位施策No・施策名 | 23 多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進 | | | | | | | | 予算事業区分 | 投資事業 | | | | |
| 事業開始 | 令和 3年度 | 実行計画事業 | 目標 | 07 | 施策 | 23 | 計画事業 | 02 | 03 | 主要事業（区政経営報告書掲載事業） | | | | |
| 令和 4年度担当課名 | 特別支援教育課 | | | | | | | | 事業評価区分 | 一般 | | | | |

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

| | | | |
|----------------------------|--|--|--|
| 対象 | ○軽度の知的障害のある児童・生徒（特別支援学級） ○中・重度の知的障害のある児童・生徒（特別支援学校） | 根拠法令等 (1) (2) | 学校教育法第5条 学校教育法第72条、81条の2 |
| 事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） | ○知的障害のある児童・生徒が、支障なく学校生活を送ることができる教育環境を整備します。 ○特別支援学級を小学校一校に新たに設置し、通学の負担軽減を図るとともに特別支援教育の環境整備を進めます。 | 活動指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） | 済美養護学校増改築工事設計進捗率 高井戸東小学校特別支援学級設置工事設計進捗率 |
| 事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） | ○高井戸東小学校に区内で11番目の特別支援学級（固定級・知的障害）を設置する。 ○児童・生徒の増加が続く、現校地では建ぺい率等の関係でこれ以上の教室増が図れない済美養護学校について、近隣の済美教育センターを改修、増築し、済美養護学校中学部を移転する。 | 指標説明 成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明 | |

指標、総事業費 (Plan・Do)

| 区分 | 単位 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | | 令和 4年度 | | 令和 5年度 | 令和 4年度 | 令和 4年度 |
|-----------------|--------------------|--------|--------|--------|-------------|---------|---------|--|--------------|
| | | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 (目標値) | 実績 | 計画 | 対計画比(%) | 予算執行率 (%) |
| 活動指標 (1) | 1 % | | 0 | 0 | 30 | 30 | 60 | 100.0 | 73.5 |
| 活動指標 (2) | 2 % | | 0 | 0 | 20 | 20 | 80 | 100.0 | |
| 成果指標 (1) | 3 | | | | | | | | |
| 成果指標 (2) | 4 | | | | | | | | |
| 事業費 | 5 千円 | | 0 | 0 | 31,466 | 23,142 | 198,636 | 特記事項 | |
| 人件費 | 常勤職員分（再任用含） | 6 千円 | 0 | 0 | 29,201 | 29,196 | 37,431 | 令和4年度の予算執行率については、高井戸東小学校の設計委託料として計上していた分を営繕課で設計したことにより、費用負担がなかったこと、また、済美養護学校増改築基本設計委託料が入札により予定より少なくて済んだことによるものである。 | |
| | 上記以外の職員 | 7 千円 | 0 | 0 | 36,750 | 36,780 | 36,780 | | |
| 総事業費 (5+6+7) | 8 千円 | 0 | 0 | 97,417 | 89,118 | 272,847 | | | |
| 財源 | 受益者負担分 | 9 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 国・都からの補助金 | 10 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16,196 | | |
| | その他の補助金等 | 11 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 特定財源計 (9+10+11) | 12 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16,196 | | |
| | 差引：一般財源 (8-12) | 13 千円 | 0 | 0 | 97,417 | 89,118 | 256,651 | | |

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 461

| 内容 | 規模 | 単位 | 事業費 (千円) |
|-------------------|---|----|----------|
| 主な取組 | | | |
| 済美養護学校中学部改修工事設計委託 | | | 23,142 |
| 特別支援学級新設設計委託 | | | 0 |
| その他 () | | | |
| 取組成果 | <p>済美養護学校は、児童・生徒数の増加により、これまでも増築等を行ってきましたが、現校地は建ぺい率が限界に達したことから、隣接の済美教育センター1階に中学部を移転することになりました。移転については、地区町会連合会や済美養護学校PTAに説明を行い理解を得ることができましたが、今後も丁寧な説明と周知を継続して行く必要があります。また、特別支援学級の新設については、高井戸東小学校に設置することが決定し、同校の保護者や隣接の特別支援学級設置校の保護者にも丁寧な説明を行うことにより、理解を得ながら設計を進めることができました。</p> | | |

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

| | |
|------------------------------|--|
| 課題・分析 (1 / 2) | <p>済美養護学校中学部の済美教育センターへの移転に伴う増改築工事に関する町会への説明会では、工事期間中も自由通路を通行止めしないこと、災害備蓄倉庫について敷地の中に設置することなど様々な意見、要望が出されました。また、PTAとの意見交換会の中でも、給食室の拡充や特別活動教室の充実といった意見が出されています。令和5年度から始まる自由通路等の本体工事に先行する関連工事をはじめ、本事業については、済美養護学校の保護者や周辺住民に対し、計画全体の丁寧な説明と周知に努め、理解を得る必要があります。</p> |
| 課題・分析 (2 / 2) | |
| 現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む) | <p>済美養護学校中学部の済美教育センターへの移転に伴う増改築工事に関する基本設計委託については、定例会議を実施し、関係課との意見調整を図りながら着実な設計を進めています。また、済美養護学校は区内全域から通学する学校であることや、保護者PTAや町会とのきめ細やかな情報交換を行いながら進捗を図っていくため、一般的な住民懇談会は実施せずに設計を進めています。なお、予算執行率は、特別支援学級の開設にあたり、予定していた設計委託を営繕課で実施したことなどもあり、73.6%でした。</p> |
| 事業の方向性・改善策 | <p>高井戸東小学校への特別支援学級の開設については、対象児童保護者への早期の意向調査の実施や学級見学日等の区ホームページへの詳細情報を掲載など、確実に丁寧な周知を図り、対象児童保護者が同校の選択について、より良い検討ができる環境を整えていきます。また、済美養護学校中学部の済美教育センターへの増改築による移転関係の工事については、自由通路の確保や、樹木をはじめとする景観の維持保全等についての情報を周辺住民へ丁寧な説明を行い、地元の理解と信頼を確保した上で工事監理を進めていきます。</p> |

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

| | | |
|-----------------|--|----------------|
| 予算の方向性 (見直しの視点) | I 事業コストの方向性 | 拡充 |
| | II 事業の改善の方向性 | 手段・方法の見直し (改善) |
| 予算の方向性の理由・内容 | <p>済美養護学校中学部の済美教育センターの増改築による移転関係の工事については、スケジュール管理を着実に実施し、併せて小学部の既存校舎についても特別教室の再構築を図り、児童・生徒の教育環境の向上を目指します。</p> <p>また、済美教育センター北側に増築する棟については、住民要望を踏まえ、当初の2階建ての計画から平屋建てに設計変更するなど、コスト削減についても計画全体の中で意識的に取り組んできました。この北棟の計画変更については、小体育室への移動が設計変更前より大幅に短縮されたことから、生徒の教育環境の充実化にも寄与することとなりました。</p> <p>今後、令和7年9月の開校に向けて、令和6年度は本格的な建築工事を実施することから、予算については拡充となる予定です。</p> | |

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00482)

| | | | | | | | | | | | |
|------------|-------------------------|--------|-------|----|----|----|------|---------|-------------------|---------|-----|
| 事務事業名称 | 教育相談等運営 | 款 | 07 | 項 | 01 | 目 | 03 | 事業 | 012 | 整理番号 | 469 |
| 現担当課名 | 済美教育センター | 係名 | 教育相談係 | | | | | 連絡先電話番号 | 4723 | 昨年度整理番号 | 470 |
| 上位施策No・施策名 | 23 多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進 | | | | | | | 予算事業区分 | 既定事業 | | |
| 事業開始 | 昭和36年度 | 実行計画事業 | 目標 | 07 | 施策 | 23 | 計画事業 | 02 | 主要事業（区政経営報告書掲載事業） | | |
| 令和 4年度担当課名 | 済美教育センター | | | | | | | 事業評価区分 | 一般 | | |

令和 4年度 事務事業の概要 (P l a n)

| | | | |
|----------------------------|---|--|--|
| 対象 | 区内在住・在学の不登校等の教育上の悩みをもつ小・中学生とその保護者、教職員 | 根拠法令等 (1) (2) | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第18条第2項 杉並区教育委員会事務局処務規則第2、5条 |
| 事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） | 不登校等ひきこもりがちな子どもの社会的自立を支援する。 | 活動指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） | 小・中学校スクールカウンセラーの配置人数 |
| 事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） | 教育相談員やスクールカウンセラー（ S C ）が、教育上の悩みをもつ子ども・保護者・教職員の相談に応じる。 不登校等ひきこもりがちな子どもがいる家庭にふれあいフレンド事業の訪問相談員やスクールソーシャルワーカー（ S S W ）を派遣し、生活の安定を図るとともに、活動や学びの場につなげる。不登校の児童生徒が多様で適切な学習活動の場につながるよう必要な支援をする。 | 成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明 | 小・中学校スクールカウンセラーの相談件数 令和4年度東京都公立学校スクールカウンセラー活用事業報告による【社会】 来所教育相談件数 令和4年度の来所教育相談実績統計による【社会】 |

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

| 区分 | 単位 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | | 令和 4年度 | | 令和 5年度 | 令和 4年度 | 令和 4年度 |
|-----------------|--------------------|---------|---------|---------|-------------|---------|---------|---------|--|
| | | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 (目標値) | 実績 | 計画 | 対計画比(%) | 予算執行率 (%) |
| 活動指標 (1) | 1 人 | 67 | 67 | 67 | 68 | 68 | 69 | 100.0 | 85.7 |
| 活動指標 (2) | 2 | | | | | | | | |
| 成果指標 (1) | 3 件 | 20,525 | 22,200 | 21,529 | 22,200 | 25,044 | 25,000 | 112.8 | |
| 成果指標 (2) | 4 件 | 754 | 750 | 814 | 800 | 814 | 800 | 101.8 | |
| 事業費 | 5 千円 | 13,842 | 17,739 | 14,756 | 17,684 | 15,153 | 19,312 | 特記事項 | |
| 人件費 | 常勤職員分（再任用含） | 6 千円 | 28,570 | 25,509 | 27,782 | 33,372 | 35,019 | 33,272 | 新型コロナウイルスの影響により、ふれあいフレンドによる支援事業を縮小したため、執行残となっています。 |
| | 上記以外の職員 | 7 千円 | 163,260 | 163,260 | 165,375 | 165,375 | 165,510 | 172,866 | |
| 総事業費 (5+6+7) | 8 千円 | 205,672 | 206,508 | 207,913 | 216,431 | 215,682 | 225,450 | | |
| 財源 | 受益者負担分 | 9 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 国・都からの補助金 | 10 千円 | 19,754 | 18,386 | 20,137 | 19,754 | 19,166 | 21,702 | |
| | その他の補助金等 | 11 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 特定財源計 (9+10+11) | 12 千円 | 19,754 | 18,386 | 20,137 | 19,754 | 19,166 | 21,702 | |
| | 差引：一般財源 (8-12) | 13 千円 | 185,918 | 188,122 | 187,776 | 196,677 | 196,516 | 203,748 | |

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 469

| | 内 容 | 規模 | 単位 | 事業費 (千円) |
|------|---|--------|----|----------|
| 主な取組 | さざんかステップアップ教室の運営 | 185 | 人 | 10,629 |
| | ペアレントトレーニングの実施 | 31 | 回 | 8 |
| | 来所教育相談 | 814 | 件 | 2,632 |
| | スクールカウンセラー業務の実施 | 25,044 | 件 | 0 |
| | その他 (講師謝礼の支出ほか) | | | 1,884 |
| 取組成果 | <p>児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援方針を検討し、教育相談員、スクールカウンセラーによる心理的支援を行うとともに、スクールソーシャルワーカーを活用し学校や関係機関と連携して支援を行いました。不登校の児童・生徒に対しては、さざんかステップアップ教室や地域の居場所等につなぎ、社会的自立に向けた支援を行いました。また、保護者が子どもの特性を理解し、適切で効果的な関わりを身に付けられるよう、ペアレントトレーニングを実施しました。</p> | | | |

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

| | |
|------------------------------|--|
| 課題・分析 (1 / 2) | <p>コロナ禍において、来所教育相談やペアレントトレーニング、スクールソーシャルワーカーの訪問については感染症対策を行い、相談時間や相談方法を工夫した上で実施しましたが、ふれあいフレンドの派遣はやむを得ず縮小となり、今後の事業をどのように継続していくかが課題となります。</p> <p>教育相談の相談件数はコロナ以前に戻りつつあり、内容も年々複雑化しているため、主訴を丁寧に取り、関係機関と連携して対応していく必要があります。さらに、学校における教育相談機能を充実させるため、教育相談コーディネーターへの支援を引き続き行っていくことが重要です。</p> <p>また、不登校児童生徒の社会的自立に向け、さざんかステップアップ教室におけるICTの活用や個別の相談支援等を強化し、いかに多様な学びの場を作っていけるかがポイントとなります。</p> |
| 課題・分析 (2 / 2) | |
| 現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む) | <p>来年度の施設移転に向けた事業の見直しとして、教育相談の初回申込みから相談に至るまでを速やかに対応するための体制作りを進めています。スクールソーシャルワーカーについては、来年度からの学校配置を見据えたモデル実施を行います。また、不登校児童生徒の増加に伴い、さざんかステップアップ教室の登録数が増加しているため、教育相談コーディネーターを核とした学校の教育相談体制づくりを支援していきます。予算は年度末までに概ね予定どおり執行できると予測しています。ふれあいフレンドについては登録者数が少ない状態が続いているため、引き続き幅広く募集を行うとともに、さざんかステップアップ教室の通室につながる支援等での活用を進めていきます。</p> |
| 事業の方向性・改善策 | <p>教育相談の相談件数は今後も増加が予想され、相談要因や相談者の背景等も様々です。令和6年度の施設移転で教育相談担当は済美教育センターと施設が別々になるため、今後の連絡体制には工夫が必要になりますが、各関係機関を含めて連携を深め、教育相談機能を強化していきます。スクールソーシャルワーカーは令和6年度からの学校配置に向けて教育相談担当と学校間で調整し、児童生徒に的確な支援を行う仕組みづくりに取り組みます。さざんかステップアップ教室では引き続きICTを活用し、通室が難しくなっている児童生徒とのつながりを深めていくとともに、さざんかステップアップ教室以外の支援策として少人数による個別活動支援 (すぎぼーと) の事業を充実させていきます。また、不登校児童生徒への多様な学びの場を提供するため不登校特例校設置の準備を行います。</p> |

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

| | | |
|-----------------|---|----------------|
| 予算の方向性 (見直しの視点) | I 事業コストの方向性 | 現状維持 |
| | II 事業の改善の方向性 | 手段・方法の見直し (改善) |
| 予算の方向性の理由・内容 | <p>不登校児童生徒の増加に伴い、教育相談への要望は多様化しています。相談に的確かつ迅速に対応するため、相談の主訴によって受付の担当を振り分ける等の運用を検討しています。また、さざんかステップアップ教室は児童生徒の登録人数が増加傾向にあり、個別の状況に合わせた支援が難しくなっています。このため、少人数での創作活動を中心とした教育相談グループ (すぎぼーと) による支援を充実させるとともに、校内居場所作りへの支援、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの専門性を発揮できるよう学校の環境整備を進め、学校内外の重層的な不登校支援体制づくりに取り組みます。加えて、新たな学びの場を提供する目的として不登校特例校の設置を計画的に進めていきます。</p> | |

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00727)

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------------------------|--------|----|-----|----|---------|-----------|--------|-------------------|-----|-----|------|-----|
| 事務事業名称 | いじめ対策の充実 | | | 款 | 07 | 項 | 01 | 目 | 03 | 事業 | 020 | 整理番号 | 475 |
| 現担当課名 | 済美教育センター | | 係名 | 管理係 | | 連絡先電話番号 | 3311-0021 | | 昨年度整理番号 | 478 | | | |
| 上位施策No・施策名 | 23 多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進 | | | | | | | 予算事業区分 | 既定事業 | | | | |
| 事業開始 | 平成25年度 | 実行計画事業 | 目標 | 07 | 施策 | 23 | 計画事業 | 02 | 主要事業（区政経営報告書掲載事業） | | | | |
| 令和 4年度担当課名 | 済美教育センター | | | | | | | 事業評価区分 | 一般 | | | | |

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

| | | | | |
|----------------------------|--|-------|--|--------------------------------|
| 対象 | 区内在住又は在学の小・中学校の児童・生徒及びその家族 | 根拠法令等 | (1) (2) | いじめ防止対策推進法 杉並区いじめ防止対策推進基本方針 |
| 事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） | 杉並区立小・中学校の児童・生徒が、電話やインターネット上の相談窓口の設置や学校・校種を超えて協働する取組を通じ、いじめについての悩みや不安を打ち明けられることができるようにするとともに、社会全体の人権や生命に対する意識を高め、いじめを進んで解決できるようにする。 | 活動指標 | 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) | いじめ認知件数 区立学校でいじめを認知した件数 |
| 事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） | 教育SATを中心とした支援体制により、いじめ問題の早期発見に努めるとともに、関係機関等と連携・協働しながら各学校のいじめ解決に向けた対応を支援する。 「ふれあい（いじめ防止強化）月間」では、人との「つながり」「かかわり」「多様性」をキーワードとして各学校において取組を行い、小中学生を取り巻くいじめ等の諸課題について「解決するために何が出来るだろうか。」「もっと良い学校にすることは出来ないだろうか。」という意識を高める。 | 指標説明 | 成果指標 | いじめ解消率 |
| | | 指標説明 | 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明 | いじめ解消件数 ÷ 認知件数【行政】 |

指標、総事業費 (Plan・Do)

| 区分 | 単位 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | | 令和 4年度 | | 令和 5年度 | 令和 4年度 | 令和 4年度 |
|--------------|-----------------|--------|--------|--------|----------|-------|--------|----------|--|
| | | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 (目標値) | 実績 | 計画 | 対計画比 (%) | 予算執行率 (%) |
| 活動指標 (1) | 1 件 | 1,382 | 0 | 1,837 | 0 | 2,150 | 2,000 | 0.0 | 62.2 |
| 活動指標 (2) | 2 % | | | | | | | | |
| 成果指標 (1) | 3 % | 90.8 | 95 | 90.6 | 95 | 93.0 | 95 | 97.9 | |
| 成果指標 (2) | 4 % | | | | | | | | |
| 事業費 | 5 千円 | 4,724 | 1,364 | 527 | 825 | 513 | 898 | 特記事項 | |
| 人件費 | 常勤職員分（再任用含） | 6 千円 | 4,252 | 5,102 | 5,423 | 4,589 | 3,743 | 3,327 | 生活指導主任会などで、学校の対応力向上を図るための研修や講演を行うために謝礼金の予算計上していたが、研修や講演に関する謝礼が発生しなかったため、予算執行率が90%未満となりました。 |
| | 上記以外の職員 | 7 千円 | 3,628 | 3,628 | 3,675 | 0 | 0 | 0 | |
| 総事業費 (5+6+7) | 8 千円 | 12,604 | 10,094 | 9,625 | 5,414 | 4,256 | 4,225 | | |
| 財源 | 受益者負担分 | 9 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 国・都からの補助金 | 10 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他の補助金等 | 11 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 特定財源計 (9+10+11) | 12 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 差引：一般財源 (8-12) | 13 千円 | 12,604 | 10,094 | 9,625 | 5,414 | 4,256 | 4,225 | |

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 475

| | 内 容 | 規模 | 単位 | 事業費 (千円) |
|------|---|--------|----|----------|
| 主な取組 | いじめに関する相談窓口の周知カード印刷 | 35,100 | 枚 | 255 |
| | 「ふれあい(いじめ防止強化)月間」啓発ポスターの印刷 | 2,300 | 枚 | 177 |
| | 「すぎなみネットでトラブル解決支援システム」用P Cの賃貸借 | | | 52 |
| | その他(会計年度任用職員特別旅費) | | | 29 |
| 取組成果 | <p>指導主事を中核として、教育S A T、スクールソーシャルワーカー等がチームとなり、「小中学校地域ブロック制による学校経営支援」を進め、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努め、校内の組織体制の充実を図りました。また、女子美術大学との協定に基づくポスター制作を「すぎなみ小・中学生未来サミット」に係る周知ポスターから、いじめ防止等の必要性を周知するための「ふれあい(いじめ防止強化)月間」啓発ポスターに変更し、「ちがいを認め合い、自分らしく生きる」ことの大切さの理解促進に努めました。</p> | | | |

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

| | |
|-----------------------------|--|
| 課題・分析 (1 / 2) | <p>いじめを無くすためには、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、組織的対応が重要であることを学校と共有するため、校長会、副校長会や生活指導主任会などを通じて研修や講演を行い、初期対応・組織的対応の重要性を浸透させ、学校の対応力向上を図っていく取組が重要であると考えています。</p> <p>一方で、いじめを無くすために根本的に必要な取組は何かという事について、引き続き分析・検討をしていく必要があります。</p> |
| 課題・分析 (2 / 2) | |
| 現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込含む) | <p>いじめ防止等の必要性を周知するための「ふれあい(いじめ防止強化)月間」啓発ポスターについて、女子美術大学との協定に基づきデザイン依頼を行い、11月の「ふれあい(いじめ防止強化)月間」に向けて制作を進めています。</p> <p>また、予算については、ポスター等の印刷費が見積りより高くなっており、今後作成予定の印刷物の印刷費も高くなると考えられるため、印刷部数の見直しを行っていきます。</p> |
| 事業の方向性・改善策 | <p>いじめを無くすためには、未然防止、早期発見、早期対応、組織的対応が重要であることを継続的に学校と共有し、学校の対応力の向上を図る取組を行います。</p> <p>また、児童・生徒に対して、他者への想像力を働かせて、自分とは異なる思いや考えがあることに思いをめぐらせ、互いに認め合い、受け入れ合う関係を構築する取組を行い、いじめ防止等の必要性の啓発を進めていきます。</p> |

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

| | | |
|--------------------|---|---------------|
| 予算の方向性 (見直しの視点) | I 事業コストの方向性 | 現状維持 |
| | II 事業の改善の方向性 | 手段・方法の見直し(改善) |
| 予算の方向性の理由・内容 | <p>済美教育センター仮移転及び(仮称)教育相談室開設に伴い、教育S A Tと教育相談担当の執務室が離れてしまうため、情報の共有方法等を検討を行っていきます。</p> | |

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00857)

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------------------------|--------|-------|-------|------|---------|-----------|--------|---------|----|-----|------|-----|
| 事務事業名称 | 済美教育センター環境整備 | | | 款 | 07 | 項 | 01 | 目 | 04 | 事業 | 006 | 整理番号 | 478 |
| 現担当課名 | 済美教育センター | | 係名 | 管理係 | | 連絡先電話番号 | 3311-0021 | | 昨年度整理番号 | | | | |
| 上位施策No・施策名 | 23 多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進 | | | | | | | 予算事業区分 | 投資事業 | | | | |
| 事業開始 | 令和 4年度 | 実行計画事業 | 目標 07 | 施策 23 | 計画事業 | 03 | | | | | | | |
| 令和 4年度担当課名 | 済美教育センター | | | | | | | 事業評価区分 | 一般 | | | | |

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

| | | | |
|-----------------------------|---|-----------|--|
| 対象 | 区立学校教職員、教育関係者、区民 | 根拠法令等 | (1) 杉並区立済美教育センター条例 (2) 杉並区立済美教育センター処務規則 |
| 事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) | 「総合計画・実行計画」に基づき、済美教育センター1階に移転する済美養護学校中学部との一体的な環境整備を図ります。また、(仮称)教育相談センターの開設に向け、教育相談の環境整備を図ります。 | 活動指標 | 済美教育センター整備進捗率 |
| | | 指標名 (1) | 済美養護学校中学部、済美教育センターの設計・工事の進捗率 |
| | | 指標説明 | (仮称)教育相談センター整備進捗率 |
| | | 指標名 (2) | (仮称)教育相談センター及び済美教育センター仮移転先の設計・工事の進捗率 |
| 事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) | | 指標説明 | |
| | ○令和4年度 済美養護学校、済美教育センター基本設計 済美教育センター仮移転先設計 (仮称)教育相談センター設計 | 成果指標 | |
| | ○令和5年度 済美養護学校、済美教育センター実施設計 済美教育センター仮移転先改築工事 (仮称)教育相談センター改築工事 | 指標名 (1) | |
| | ○令和6~7年度 済美養護学校、済美教育センター増改築工事 | 指標説明 | |
| | | 指標名 (2) | |
| | | 指標説明 | |

指標、総事業費 (Plan・Do)

| 区分 | 単位 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | | 令和 4年度 | | 令和 5年度 | 令和 4年度 | 令和 4年度 |
|----------------|-----------------|--------|--------|----|----------|--------|---------|---|-----------|
| | | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 (目標値) | 実績 | 計画 | 対計画比 (%) | 予算執行率 (%) |
| 活動指標 (1) | 1 % | | | | 30 | 30 | 60 | 100.0 | 70.0 |
| 活動指標 (2) | 2 % | | | | 60 | 60 | 100 | 100.0 | |
| 成果指標 (1) | 3 | | | | | | | | |
| 成果指標 (2) | 4 | | | | | | | | |
| 事業費 | 5 千円 | | | | 19,887 | 13,921 | 270,976 | 特記事項 | |
| 人件費 | 常勤職員分 (再任用含) | 6 千円 | | | 6,674 | 9,150 | 8,318 | 予算額と落札額の差金により、執行率が70%になりました。事業費は設計業務委託で、執行項目で3つに分かれています。一体のものとして同一の事業者と契約しています。 | |
| | 上記以外の職員 | 7 千円 | | | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費 (5+6+7) | 8 千円 | | | | 26,561 | 23,071 | 279,294 | | |
| 財源 | 受益者負担分 | 9 千円 | | | 0 | 0 | 0 | | |
| | 国・都からの補助金 | 10 千円 | | | 0 | 0 | 0 | | |
| | その他の補助金等 | 11 千円 | | | 0 | 0 | 0 | | |
| | 特定財源計 (9+10+11) | 12 千円 | | | 0 | 0 | 0 | | |
| 差引：一般財源 (8-12) | 13 千円 | | | | 26,561 | 23,071 | 279,294 | | |

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 478

| 主な取組 | 内 容 | 規模 | 単位 | 事業費 (千円) |
|------|---|----|----|----------|
| | 済美教育センター増築その他工事に伴う基本設計等業務委託 | | | |
| | 済美教育センター仮移転先工事に伴う設計業務委託 | | | 997 |
| | (仮称)教育相談センター工事に伴う設計業務委託 | | | 10,672 |
| | その他 () | | | |
| 取組成果 | 済美教育センターの増改築の基本設計及び済美教育センター仮移転先、(仮称)教育相談センターの改築工事の設計を完了しました。また、(仮称)教育相談センター開設のため、近隣住民戸別訪問説明を実施しました。 | | | |

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

| | |
|-----------------------------|--|
| 課題・分析 (1 / 2) | 済美養護学校及び済美教育センターの増改築について、住民説明会を行ったところ、基本設計上の設備配置の変更や樹木を残して欲しいなどの意見、工事中の安全確保についての要望が挙がりました。また、外地(住民が使用する通路)については建物に先行し、令和5年度から工事が始まります。近隣住民、養護学校保護者、その他関係者には、移転改築事業について一層ご理解いただけるよう、丁寧な説明を行うとともに、できる限りの対応と配慮を行う必要があります。 |
| 課題・分析 (2 / 2) | |
| 現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込含む) | 令和5年度の事務事業「済美教育センター環境整備」は、済美教育センター設計、済美教育センター仮移転先工事、移転に伴う引越し・備品等調達主に3つの取組みがあります。済美教育センター設計は、設計事務所と委託契約を行い、10月末に区建築課に計画申請をします。済美教育センター仮移転先工事は、8月に工事業者が決定し、2月までに工事が完了します。移転に伴う引越し・備品等調達は、下半期に予算執行します。 |
| 事業の方向性・改善策 | 令和7年9月の済美養護学校中学部・済美教育センターの移転に向け、段階を踏んで取組を行います。 令和5年度 済美教育センター設計、外地工事 仮移転先工事、引越し 令和6年度 済美教育センター工事 令和7年度 済美教育センター工事、引越し、備品等調達 |

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

| | | |
|--------------------|--|---------------|
| 予算の方向性 (見直しの視点) | I 事業コストの方向性 | 拡充 |
| | II 事業の改善の方向性 | 手段・方法の見直し(改善) |
| 予算の方向性の理由・内容 | 令和7年9月の済美養護学校中学部の済美教育センターへの移転に向け、令和6年度から済美教育センターの工事を始めるため、5年度に比べ予算は増加します。 また、工期は令和6年度から7年度にかけてになりますが、工程上、7年度は6年度に比べ工事費が増加します。 | |

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00497)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------------------------|----|--------|---------|------|---|----|---------|------|----|-----|------|-----|--|
| 事務事業名称 | 小学校障害児就学奨励 | | | 款 | 07 | 項 | 02 | 目 | 02 | 事業 | 002 | 整理番号 | 484 | |
| 現担当課名 | 学務課 | 係名 | 就学奨励担当 | 連絡先電話番号 | 1625 | | | 昨年度整理番号 | 487 | | | | | |
| 上位施策No・施策名 | 23 多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進 | | | | | | | 予算事業区分 | 既定事業 | | | | | |
| 事業開始 | 昭和31年度 | | | | | | | | | | | | | |
| 令和 4年度担当課名 | 学務課 | | | 事業評価区分 | | | | | | | 一般 | | | |

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

| | | | |
|-----------------------------|---|-----------|---|
| 対象 | 国公立小学校における特別支援学級又は済美養護学校に就学する児童の保護者 | 根拠法令等 | (1) 杉並区就学奨励費支給要綱 (2) 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱 |
| 事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) | 特別支援学級に在籍 (通級を含む) する児童及び通常の学級に在籍し学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度に該当する児童の保護者に対し、その就学に伴い必要な費用を支給し、特別支援教育の振興を図る。 | 活動指標 | 固定学級及び通常の学級の就学奨励費受給認定者数 就学奨励費受給を認定された児童数 |
| 事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) | 国公立小学校における特別支援学級に就学する児童、通常の学級に在籍し学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度に該当する児童及び済美養護学校に就学する児童の保護者に対して、就学に伴い必要な費用 (学用品、給食費、通学費等) を所得等の状況に応じて支給する。 | 指標名 (1) | 通級指導学級通級費受給者数 |
| | | 指標説明 | 通級指導学級で指導を受けるために要する交通費を受給する児童数 |
| 成果指標 | 固定学級及び通常の学級の就学奨励費支給額 | 指標名 (1) | 固定学級及び通常の学級に在籍する児童の保護者に支給した就学奨励費【行政】 |
| | | 指標説明 | 通級指導学級通級費支給額 |
| | | 指標名 (2) | 通級指導学級で指導を受けるために要する交通費として保護者に支給した通級費【行政】 |

指標、総事業費 (Plan・Do)

| 区分 | 単位 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | | 令和 4年度 | | 令和 5年度 | 令和 4年度 | 令和 4年度 | |
|--------------|-----------------|--------|--------|-------|----------|-------|--------|----------|---|--|
| | | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 (目標値) | 実績 | 計画 | 対計画比 (%) | 予算執行率 (%) | |
| 活動指標 (1) | 1 人 | 129 | 128 | 120 | 115 | 121 | 121 | 105.2 | 88.9 | |
| 活動指標 (2) | 2 人 | 93 | 91 | 50 | 82 | 52 | 70 | 63.4 | | |
| 成果指標 (1) | 3 千円 | 1,708 | 2,248 | 1,506 | 1,968 | 1,798 | 2,017 | 91.4 | | |
| 成果指標 (2) | 4 千円 | 348 | 420 | 212 | 329 | 243 | 275 | 73.9 | | |
| 事業費 | 5 千円 | 2,236 | 2,771 | 1,819 | 2,394 | 2,129 | 2,388 | 特記事項 | | |
| 人件費 | 常勤職員分 (再任用含) | 6 千円 | 1,275 | 1,701 | 1,251 | 0 | 0 | 1,747 | 支給実績が予定を下回ったため、予算執行残となりました。 また、認定者のうち就学援助受給者を除く、生活保護基準の2.5倍未満の者が前年度よりも増加したことにより学校給食費や学用品費等の支給実績が増加し、事業費も前年度比増となりました。 | |
| | 上記以外の職員 | 7 千円 | 0 | 0 | 0 | 1,103 | 1,103 | 1,103 | | |
| 総事業費 (5+6+7) | 8 千円 | 3,511 | 4,472 | 3,070 | 3,497 | 3,232 | 5,238 | | | |
| 財源 | 受益者負担分 | 9 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 国・都からの補助金 | 10 千円 | 1,021 | 1,302 | 840 | 1,100 | 992 | 1,113 | | |
| | その他の補助金等 | 11 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 特定財源計 (9+10+11) | 12 千円 | 1,021 | 1,302 | 840 | 1,100 | 992 | 1,113 | | |
| | 差引：一般財源 (8-12) | 13 千円 | 2,490 | 3,170 | 2,230 | 2,397 | 2,240 | 4,125 | | |

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 484

| | 内 容 | 規模 | 単位 | 事業費 (千円) |
|------|---|----|----|----------|
| 主な取組 | 給食費の支給 | 46 | 人 | 1,158 |
| | 通級学級通級費の支給 | 52 | 人 | 243 |
| | 通学費の支給 | 10 | 人 | 229 |
| | 入学準備金の支給 | 7 | 人 | 179 |
| | その他 (学用品費、印刷代など事務費) | | | 320 |
| 取組成果 | <p>令和4年度は、特別支援学級 (固定学級) 等に在籍する121人の就学奨励費受給を認定し、給食費や通学費等の学校生活にかかる費用の一部を支給することで特別支援学級等へ就学する児童の保護者の経済的負担を軽減しました。また、通級指導学級通級費は52人に支給し、難聴・言語障害等の児童が通級指導学級で指導を受けるために要する交通費の負担を軽減しました。</p> | | | |

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

| | |
|--------------------------------|--|
| 課題・分析 (1 / 2) | <p>特別支援学級 (固定学級) 等の就学奨励費受給認定者数の実績は計画を上回り、通級指導学級通級費受給者数は計画を下回りました。令和4年度認定者のうち就学援助受給者を除く、生活保護基準の2.5倍未満の者が前年度よりも増加したことにより学校給食費や学用品費等の支給実績が増加し、事業費も前年度比増となりました。</p> <p>認定者数は、今後の特別支援学級在籍者数や経済状況により変化することが予測されますが、対象となる児童の保護者に申請方法や受給内容について適切に案内し、支給していくことが必要となります。</p> |
| 課題・分析 (2 / 2) | |
| 現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む) | <p>就学奨励費の各申請については、認定、支給を進めているところですが、特別支援学級 (固定学級) 等の令和5年度申請者数は124人で令和4年度8月末の同時期に比較して5人増加しています。通級指導学級の通級費については、8月末に令和4年度同時期より9人多い154人に対し1学期分を支給しました。10月以降、給食が無償化する場合は、保護者の給食費負担が無くなるため、就学奨励費の給食費分の予算執行は縮減する見込みです。</p> |
| 事業の方向性・改善策 | <p>今後の特別支援学級等在籍者数や通級指導学級の通級者数、経済状況の変化により受給申請者、認定者数が増減することが想定されます。各就学奨励費の申請案内や受付に際しては、保護者や申請書を取りまとめる学校に対して分かりやすく丁寧に説明するなど、特別支援学級等へ就学する児童の保護者への支援を継続し、特別支援教育の振興を図ります。</p> |

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

| | | |
|-------------------|---|------|
| 予算の方向性 (見直しの視点) | I 事業コストの方向性 | 拡充 |
| | II 事業の改善の方向性 | 現状維持 |
| 予算の方向性の理由・内容 | <p>就学奨励費は就学援助と同じシステムを使用して事業を実施していますが、就学援助が国の示す標準化対象業務になっており、令和7年度に現行のシステムから標準準拠システムへの移行が予定されています。そのため、就学奨励費は別途システム構築をする必要があり、令和6年度には移行経費、令和7年度には移行経費及び運用経費と予算の増額が見込まれます。</p> <p>就学奨励費は、現在の認定状況や特別支援学級の在籍見込数、国の特別支援教育就学奨励費の予算概算要求内容等から計画していきますが、令和6年度に給食費の無償化を実施する場合は、給食費分の予算を減額することが見込まれます。</p> | |

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00511)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------------------------|----|--------|---------|------|---|----|---------|------|----|-----|------|-----|--|
| 事務事業名称 | 中学校障害児就学奨励 | | | 款 | 07 | 項 | 03 | 目 | 02 | 事業 | 002 | 整理番号 | 496 | |
| 現担当課名 | 学務課 | 係名 | 就学奨励担当 | 連絡先電話番号 | 1625 | | | 昨年度整理番号 | 497 | | | | | |
| 上位施策No・施策名 | 23 多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進 | | | | | | | 予算事業区分 | 既定事業 | | | | | |
| 事業開始 | 昭和31年度 | | | | | | | | | | | | | |
| 令和 4年度担当課名 | 学務課 | | | 事業評価区分 | 一般 | | | | | | | | | |

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

| | | | |
|-----------------------------|---|-------|---|
| 対象 | 国公立中学校における特別支援学級又は済美養護学校に就学する生徒の保護者 | 根拠法令等 | (1) 杉並区就学奨励費支給要綱 (2) 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱 |
| 事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) | 特別支援学級に在籍 (通級を含む) する生徒及び通常の学級に在籍し学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度に該当する生徒の保護者に対し、その就学に伴う必要な費用を支給し、特別支援教育の振興を図る。 | 活動指標 | 固定学級及び通常の学級の就学奨励費受給認定者数 就学奨励費受給を認定された生徒数 通級指導学級通級費受給者数 |
| 事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) | 国公立中学校における特別支援学級に就学する生徒、通常の学級に在籍し学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度に該当する生徒及び済美養護学校に就学する生徒の保護者に対して、就学に伴う必要な費用 (学用品、給食費、通学費等) を所得等の状況に応じて支給する。 | 指標説明 | 通級指導学級で指導を受けるために要する交通費を受給する生徒数 |
| | | 成果指標 | 固定学級及び通常の学級の就学奨励費支給額 |
| | | 指標説明 | 固定学級及び通常の学級に在籍する生徒の保護者に支給した就学奨励費【行政】 通級指導学級通級費支給額 |
| | | 指標説明 | 通級指導学級で指導を受けるために要する交通費として保護者に支給した通級費【行政】 |

指標、総事業費 (Plan・Do)

| 区分 | 単位 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | | 令和 4年度 | | 令和 5年度 | 令和 4年度 | 令和 4年度 | |
|--------------|-----------------|--------|--------|-------|----------|-------|--------|----------|---|--|
| | | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 (目標値) | 実績 | 計画 | 対計画比 (%) | 予算執行率 (%) | |
| 活動指標 (1) | 1 人 | 55 | 54 | 54 | 59 | 60 | 60 | 101.7 | 67.7 | |
| 活動指標 (2) | 2 人 | 2 | 6 | 4 | 5 | 4 | 5 | 80.0 | | |
| 成果指標 (1) | 3 千円 | 1,980 | 3,186 | 2,601 | 2,990 | 2,009 | 2,911 | 67.2 | | |
| 成果指標 (2) | 4 千円 | 10 | 52 | 36 | 37 | 36 | 36 | 97.3 | | |
| 事業費 | 5 千円 | 2,029 | 3,259 | 2,652 | 3,048 | 2,062 | 2,968 | 特記事項 | | |
| 人件費 | 常勤職員分 (再任用含) | 6 千円 | 1,275 | 1,701 | 1,251 | 0 | 0 | 1,747 | 支給実績が予定を下回ったため、予算執行残となりました。 また、認定者のうち就学援助受給者を除く、生活保護基準の2.5倍未満の者が前年度よりも減少したことにより学校給食費や学用品費等の支給実績が減少し、事業費も前年度比減となりました。 | |
| | 上記以外の職員 | 7 千円 | 0 | 0 | 0 | 1,103 | 1,103 | 1,103 | | |
| 総事業費 (5+6+7) | 8 千円 | 3,304 | 4,960 | 3,903 | 4,151 | 3,165 | 5,818 | | | |
| 財源 | 受益者負担分 | 9 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 国・都からの補助金 | 10 千円 | 980 | 1,610 | 1,061 | 1,345 | 921 | 1,416 | | |
| | その他の補助金等 | 11 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 特定財源計 (9+10+11) | 12 千円 | 980 | 1,610 | 1,061 | 1,345 | 921 | 1,416 | | |
| | 差引：一般財源 (8-12) | 13 千円 | 2,324 | 3,350 | 2,842 | 2,806 | 2,244 | 4,402 | | |

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 496

| | 内 容 | 規模 | 単位 | 事業費 (千円) |
|------|---|----|----|----------|
| 主な取組 | 通学費の支給 | 16 | 人 | 712 |
| | 給食費の支給 | 19 | 人 | 526 |
| | 学用品費の支給 | 19 | 人 | 238 |
| | 宿泊訓練費の支給 | 16 | 人 | 212 |
| | その他 (修学旅行費の支給、印刷代など事務費) | | | 374 |
| 取組成果 | 令和4年度は、特別支援学級 (固定学級) 等に在籍する60人の就学奨励費受給を認定し、給食費や学用品費等の学校生活にかかる費用の一部を支給することで特別支援学級等へ就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減しました。また、通級指導学級通級費は4人に支給し、難聴・言語障害等の生徒が通級指導学級で指導を受けるために要する交通費の負担を軽減しました。 | | | |

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

| | |
|--------------------------------|---|
| 課題・分析 (1 / 2) | 特別支援学級 (固定学級) 等の就学奨励費受給認定者数と通級指導学級通級費受給者数の実績は、ほぼ計画どおりでした。令和4年度は認定者のうち就学援助受給者を除く、生活保護基準の2.5倍未満の者が前年度よりも減少したことにより学校給食費や学用品費等の支給実績が減少し、事業費も前年度比減となりました。認定者数は、今後の特別支援学級在籍者数や経済状況により変化することが予測されますが、対象となる生徒の保護者に申請方法や受給内容について適切に案内し、支給していくことが必要となります。 |
| 課題・分析 (2 / 2) | |
| 現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む) | 就学奨励費の各申請については、認定、支給を進めているところですが、特別支援学級 (固定学級) 等の令和5年度申請者数は66人で令和4年度8月末の同時期に比較して8人増加しています。通級指導学級の通級費については、8月末に令和4年度同時期より2人少ない12人に対し1学期分を支給しました。10月以降、給食が無償化する場合は、保護者の給食費負担が無くなるため就学奨励費の給食費分の予算執行は縮減する見込みです。 |
| 事業の方向性・改善策 | 今後の特別支援学級等在籍者数や通級指導学級の通級者数、経済状況の変化により受給申請者、認定者数が増減することが想定されます。各就学奨励費の申請案内や受付に際しては、保護者や申請書を取りまとめる学校に対して分かりやすく丁寧に説明するなど、特別支援学級等へ就学する生徒の保護者への支援を継続し、特別支援教育の振興を図っていきます。 |

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

| | | |
|-------------------|---|------|
| 予算の方向性 (見直しの視点) | I 事業コストの方向性 | 拡充 |
| | II 事業の改善の方向性 | 現状維持 |
| 予算の方向性の理由・内容 | <p>就学奨励費は就学援助と同じシステムを使用して事業を実施していますが、就学援助が国の示す標準化対象業務になっており、令和7年度に現行のシステムから標準準拠システムへの移行が予定されています。そのため、就学奨励費は別途システム構築をする必要があり、令和6年度には移行経費、令和7年度には移行経費及び運用経費と予算の増額が見込まれます。</p> <p>就学奨励費は、現在の認定状況や特別支援学級の在籍見込数、国の特別支援教育就学奨励費の予算概算要求内容等から計画していきますが、令和6年度に給食費の無償化を実施する場合は、給食費分の予算を減額することが見込まれます。</p> | |